図書・資料室だより

自分の体と向き合う ～ありのままの自分が好き～

『太れば世界が終わると思った』

キム・アンジェラ//著
高原美絵子／西野明奈//訳
扶桑社　2021年

美しい体って誰が決めるの？太ったからって世界が終わるわけじゃない。いま、その姿のままで十分美しい。
17年におよぶ摂食障害の経験を経て、自分の心を見つめ直した韓国人女性の記録です。

『自分サイズでいこう 私なりのボディポジティブ』

hara//著
KADOKAWA　2021年

やせてないとオシャレをしちゃいけないと思っていた…でもありのままの自分の体を愛していいかも…と、プラスサイズのイラストと共に前向きに自分を肯定するコミックエッセイです。

『女は見た目が10割 誰のために化粧をするのか』

鈴木由加里//著
平凡社　2006年

眉を整え、まつ毛をカールさせ、高価な化粧品を使って、「キレイ」を目指すことは、大きな楽しみであると同時に苦しみでもある。女性は誰のために、何のために、「キレイ」になろうとするのかを考察し、美しく生きることを押し付けられずに、自由に「キレイ」を楽しむ生き方を推奨します。

『ブスの自信の持ち方』

山崎ナオコーラ//著
誠文堂新光社　2019年

「ブスは表舞台に出ずに隅っこでおとなしくしていろ―」という風潮に、「ブス本人は変わらなくていい！社会が変わるべきだ。ブスには自信をもってほしい。」と、ブスを自認する著者が言います。

『生理ちゃん』

小山健//著
KADOKAWA　2018年

コンビニ店員にも、女子高生にも、結婚7年目の主婦にも、バリバリ働く女性にも、ツキイチで生理はやってくる。
イタイ、ツライ、メンドクサイを吹き飛ばすほど笑って泣けるコミックです。

『かんもくの声』

入江紗代//著
学苑社　2020年

家では普通に話せるのに、園や学校、職場などの特定の場面において話せなくなってしまう不安症状・場面緘黙症。当事者である著者が、誰にも話せなかった悩み、話したくても伝えられなかった言葉をつむぎます。

『吃音（きつおん） 伝えられないもどかしさ』

近藤雄生//著
新潮社　2019年

人が生きていく上で他者とのコミュニケーションは不可欠なのに、伝えたいことが伝えられない。原因も医学的治療法も不明なまま、国内に100万人ともいわれる「どもり」に悩む人たちの現実に迫ります。

3月5日（土）G-NET カフェ『子育て中のあなたのための「自分時間」』を開催しました。

“絵本の中にある無意識の思い込みに気付こう”をテーマに絵本を紹介。男の子は元気、女の子はか弱い、おばさんはおしゃべり、家事をするのはおかあさん・・・など絵本の中に隠れている“思い込み”の場面をいっしょに探しました。

その後は、図書・資料室で思い思いに自分のための読書を楽しんでいただきました。

図書館には行くけれども、子どもの本を探すだけで、自分の本を見る時間がなかなかありませんよね。

次回は平日開催になります。

6月9日（木）10：30～12：00（予定）

G－NETシネマ

アイ♡ラヴ♡フレンズ（邦画作品）

2001年／日本／113分／監督:大澤豊／

出演:忍足亜希子、落合モトキ、藤田朋子、萩原聖人、田村高廣ほか

息子と義妹の三人で暮らす夫を亡くしたろう者のカメラマン・美樹と、子どもを交通事故で死なせてしまい、罪の意識にさいなまれている青年・柴田との心の交流を描いた感動作品

4月16日(土) 13:30～

＜参加無料＆申込不要＞

男女共同参画絵本

『3人のママと3つのおべんとう』

クク･チスン // 作

斎藤真理子 // 訳

ブロンズ新社 2020年

子育て、家事、仕事に日々一生懸命頑張るママたち。幼稚園の遠足の日も朝からお弁当作りに大忙し。

そんな3人のママたちが子どもたちからもらったまぶしい春の日のプレゼントとは･･･

図書・資料室　ご利用案内

- 開室時間 9：00～17：00
- 4月の休室日　4日,11日,18日,19日,25日,30日
- 貸出（本・雑誌）15冊　3週間まで
  （ＤＶＤ）　2本　1週間まで
- お問い合わせ先（電話）
  0748-37-3735（図書・資料室直通）
  0748-37-3751（センター代表）

※新型コロナウイルスの感染拡大防止対策のため、休室日については変更になることがあります。

滋賀県立男女共同参画センターの情報はこちらからご覧になれます